

常任委員会

厚生常任委員会委員長

笹 淵 賢 吾

平成21年9月議会において、厚生常任委員会が所管しております一般会計の健康福祉課の分野、特別会計の介護保険事業会計、特別養護老人ホーム事業会計、和水町立病院企業会計の決算審査した件につき主なものについて報告いたします。

まず初日の9月15日、9時より健康福祉課の町立神尾保育園関係から行いました。保育園の工事請負費699万7,314円はテラスの改修工事については全部計画し、終了すべきではなかったのかといった指摘や工事費が高いのでは、といった指摘がありました。草刈委託料は、シルバー人材センターに委託しているため、以前より少なくなり経費削減されています。

子ども家庭についてです。

学齢前児童人口数は年々減少していますが、保育園への入所児童数は増加傾向にあり、保育料の滞納額は減少し、収納率は99・83%と向上しています。これは中学3年生までの医療費無料化によるプラスのよい影響です。また、20年度に新しく現物給付助成方式が導入されましたが、窓口払いをしなくていいために、保護者から大変喜ばれています。こういった他市町村より進んでいることを子どもが増加するように町内外に宣伝するよう、指摘がありました。

す。民生委員さんへの町からのサポート強化も重要であります。

障害者福祉についてです。

身体障害者手帳交付者数は、視覚、聴覚、肢体不自由、内部機能など合わせて795人となっています。療育手帳交付者数は91人、精神障害者手帳交付者数は75人、精神通院受給者数は136人となっています。障害者手帳を取得する人は高齢化のなかで年々増加し、平成12年比で316人、49%の増加となっています。社会的弱者といわれる障害者に対する施策が行われていると思いますが、社会参加ができるようよりいっそうの福祉充実が求められます。

保健予防についてです。成

人検診率は県内でトップクラスとなっています。検診結果は、再検査は全体の8割にのぼり、17%は保健指導を受けています。現代の社会環境の中

で、ほとんどの人が、何らかの病気の症状があるようです。何らかの検診を受け、早期発見、早期治療が必要とな

っています。

地域包括支援センターは、

高齢者が自分らしい生活を維持するために、高齢者の権利擁護や介護、虐待などの総合相談支援、保健医療福祉、生活支援サービス、介護予防など包括的継続的支援を行っています。20年度に新しく始まった事業は、外出支援タクシー利用助成事業です。家庭での輸送が困難な高齢者に対し、医療機関への通院のためにタクシーを利用する場合に外出支援としてタクシー利用料に一部をタクシー券により助成する事業です。20年10月1日から、社協委託の外出支援サービスに変わり開始されています。利用登録者は14人とまだ少ない状況です。配食サービスは月平均利用者数68人、述べ配食数は4,528食となっており、高齢者から喜ばれています。

平成20年度介護保険事業会計は、収入済額14億6,375万1千円、支出済額14億473万9千円で残額は5,901万2千円となっています。

平成21年3月31日現在の被保険者65歳以上は4,144人、要介護認定者792人となっています。介護給付費は前年度に比べ2,179万5千円の増額になっています。地域支援事業により、高齢者が要支援、要介護の状態にならないよう介護予防の取り組みの強化が重要となっています。

16日に特別養護老人ホーム事業会計と国民健康保険和水町立病院事業会計の決算審査を行いました。

平成20年度特別養護老人ホーム事業会計の歳入決算額は5億2,447万9千円であり、歳出決算額は4億4,967万6千円、歳入歳出差し引き残額は7,480万2千円、と黒字決算となっています。平成20年度単年度収支では前年度繰越金が6,353万9千円で実質1,126万3千円の黒字となっています。これは、昨年より長期入所や短期入所者の人数も多く、収入が増加しており、ベッドを長く空にしないなど経営改善が見られます。

建設経済

常任委員会

建設経済常任委員会委員長

北原 芳史

平成20年度国民健康保険和水町立病院事業会計収益は8億8,411万1千円、支出は8億6,459万3千円、差し引き1,951万8千円の黒字になっています。この分を差し引き20年度末累積欠損金は3億6,917万7千円となっています。入院患者数は、昨年より増加していますが、3階の一般病床56床の利用率は57・3%と低く、4階の療養病床42床の利用率は90・4%、3階と4階全部合わせて利用率は71・5%でした。医師数が減少するなかで、医師の確保と病床の利用率向上を図り、地域住民の安全と健康への期待にこたえることが求められています。

以上、厚生常任委員会の決算審査報告と致します。



経済課関係

◎歳入 単県治山事業分担金

や事業補助金、農業就業改善センター使用料、民家村における使用料、宿泊使用料、休憩使用料、設備使用料、農業委員会補助金、中山間地域等直接支払事業交付金や美しい森林づくり基盤整備交付金等があります。

◎歳出 農業委員会費341万円(23人分)

・農業総務振興費 経営構造対策事業費補助金216万円

・新規就農者対策支援助成金40万円(2人)

・農業振興補助金461万円
・中山間地域直接支払事業費交付金4,861万円(菊水16協定・三加和36協定)

面積651ha

・中山間総合整備事業275万円

・非主食用米緊急生産実証モデル事業100万円

・農地・水・環境保全向上対策事業負担金285万円

◎商工総務費 和水町商工会950万円

◎観光費(負担金、補助金、委託料)

◎需用費交流センター・あばかん家・民家村・施設修繕費をあわせて5,952万円(古墳祭実行委員会補助金1,200万円が含まれる)

◎工事請負費1,390万円(あばかん家水中ポンプ454万円、三加和温泉交流センター駐車場工事643万円)

◎建設課関係

・土木費補助金3,992万円(三加和33箇所、菊水55箇所)

・道路改良及び舗装工事

箇所)

・20年度道路改良費 工事請負費2億3,779万円(菊水地区10路線、三加和地区8路線) 公有財産購入費

町道改良工事に伴う土地購入費924万円

・道路維持工事費3,994万円(神尾地区道路補修費他11件、菊水中央地区道路維持工事他21件)

・橋梁維持費 委託料 町道橋剥離対策工事1,119万円

・河川総務費 菊池川河川排水樋門管理委託他241万円

◎和水町簡易水道事業会計

◎歳入 水道使用料現年度分1,673万円 一般会計繰入金1,928万円 前年度繰入金279万円 町債(簡易水道事業債)4,000万円

◎歳出 修繕費 大藤地区97万円 施設管理費 ポンプ場の電気代218万円

◎和水町下水道会計

◎歳入 下水道使用料1,601万円 一般会計繰入金5,320万円 前年度繰越金1,980万円

◎歳出 工事請負費76万円施設管理委託料569万円と汚泥処理があります。

◎和水町特定地域排水処理事業会計

◎歳入 国庫補助金 5人槽8基、7人槽27基 計35基4,125万円

◎歳出 工事請負費4,125万円

◎和水町下水道会計

